

□ □ □ □ □ □ □ □ □

公益社団法人 福岡県人権研究所

“りべらしおん” No. 58 (2023/9/22)

□ □ □ □ □ □ □ □ □

I <報告>

(1) 9月3日(日) ジェンダー一部会活動報告

ジェンダー一部会では『からゆきさん』について、『匪賊の笛』を読むことにしました。『からゆきさん』では、からゆきを生みだした背景の史実と絡ませながら、数人のからゆきさん像を追う記述がなされています。それは、いわゆる歴史的な記述ではなく、同じ女・性である自分を追いこみ、「呼吸すら小刻みに」なるほどの切なさで綴られていました。

この『匪賊の笛』は『からゆきさん』より、2年前に出版されています。植民地朝鮮で生まれ育った深い原罪意識、帰国後、「みずから生爪をはぐようなくあいに」生き、許せる自分に出会うことは至難だった。その和江さんが気儘に放っていても自分を許せる地平までたどり着くまでに、和江さんを鍛えてくれた階層の人々への思いや、自らの体験を表現する手段を奪われた民衆への内的世界への手探りが主になっています。

評論集『匪賊の笛』の中から、まず、「からゆきさん」つづきで、「からゆきさんの抱いた世界」を読み合いました。出された意見や感想の中からいくつか紹介します。

○後になぜ「からゆき」を秘めたがるようになったのか、そこに「社会の目」「市民的なまなざし」があった—とあるが、それは今も同じでは。「汚染水」発言の農水相が辞任に追い込まれたことに、原発(国策)へのマイナス発言を許さない「目」を感じる。

○「からゆきさん」の存在は日本の近代化のひずみそのもの—とあるが、「近代化」とは「侵略」だったとも言えるのではないか。

○からゆきさんの体験が性を軸としていることは、とりもなおさず、わたしたちの性のありようの裏返しである、という表現の深さ、痛さ。

○洋食器のセットは基本偶数。和食器は基本奇数。日本(家父長制)には「ペア」(対、対等)の発想がない。家制度の中で女は「買うもの」か「後継ぎを生ませるもの」だった。

○なぜ『匪賊の笛』という題名なのか。—日本が植民地にした朝鮮で生まれ育ったことに強い原罪意識をもつ森崎さんは、自らを「匪賊」と感じていたのかも。そんな森崎さんが「のびやかに生きたい」(「笛」のように)と思えるようになるまでの人々との出会いや思索が書かれた本だからではないか。

これからも、森崎さんの言葉から学び、考え合いたいと思います。

次回は10月29日(日)14:00~研究所にて、森崎和江『匪賊の笛』を読む学習会②「民衆ことばの発生」「未熟なことば・その手ざわり」「肉体のことば」を読み合い、考えます。

(2) 9月5日(火) 石瀧塾活動報告

2023年度第5回人権教育内容創造研究会(石瀧塾)は、9月5日(火)18:30開会アザレアホール須恵学習室で行われました。内容は、①10/1(日)に計画している第16回筑前竹槍一揆ウォークIN木屋瀬について(事務内容と分担、当地保存会へのお願い等)、②副読本の検討(検地と刀狩り、藩の成立と身分制度)を学習しました。時間切れで、各自読むことになりました。

*次回は、10/1（日）第16回筑前竹槍一揆ウォーク in 木屋瀬の実施 次々回は、11/28（火）18：30開会 須恵町アザレアホール須恵学習室で行います。内容は、講師：石瀧氏の著書について、副読本の検討 などです。平日の夜ですが、参加をお待ちしています。

(3) 9月9日（土）史資料プロジェクト活動報告

2023年度第4回は、「地主制度と部落差別」という標題で会員の岸本靖さんより、提案していただきました。

（一）はじめにの中で、岸本さんは、京都・築上の出身で、家業は農家でした。そのころの様子を思い出深く話されました。

（二）地主制度の移り変わり

（1）地租改正 ①封建的土地所有制度の撤廃 ②地租改正の結果

（2）松方財政 ①松方財政による地主制度の変化 ②地元の史資料から

（3）世界恐慌と昭和恐慌

（4）小作争議を中心とする農民運動 ①小作農民の団結 ②小作争議・農民組合での部落の人々の活躍 ③国家の弾圧

（5）第二次人民戦線事件

（6）農地改革

という流れで多数の資料を用いて説明していただきました。

・質問・意見では、「オトコシ・オナゴシ」という言葉があるが、県内のあちこちで、使われていたらしいことが分かりました。江戸時代から、実質的に農地の売買が行われており、潰れた農民（百姓）が江戸や大阪に流れ込んでいった。など充実した内容で閉会することができました。

次回（第5回）10月14日（土）は竹森健二郎さんから提案していただきます。内容は、「高橋くら子と福岡」という題で語っていただきます。乞うご期待！

(4) 9月16日（土）公開人権講座「全九州水平社創立100周年の歴史的意義」（朝治武講演）

※アンケートより一部抜粋：

・『水平月報』を資料に詳しく全九州水平社創立100周年の歴史的意義を話してもらってよかった。これからの研究の姿勢に学んで行きたい。

・自分の学びがうすいなと改めて感じました。知らなかったことが知れたのが大きな学びです。水平社の知識が1922.3.3で止まっているので今後も学び続けていきたいです。

・水平社における糾弾闘争の位置づけがよく分かった。中でも朝治さん個人の糾弾闘争への考えが興味深く、楽しく学べた。

・全国水平社のお話を今まで聞いた話とは違った視点でのお話を聞いて勉強になりました。

・とてもわかりやすいレジュメをご準備いただき、九州水平運動、自尊感情の表現を歴史的に知る事ができました。自分たちの運動の反省をしていた事、糾弾が変化した事等、学ぶ事があります。社会制度・社会組織に問題があった事、ある事を認識し、小さなことから行動します。貴重なお話を、ありがとうございます。

(5) 9月18日（月・祝）第2回外国人部会 大村入管周辺フィールドワーク

大村フィールドワークは、前日までの大雨が嘘のように全く雨に降られずに開催できました。

柚之原先生の講演も入管問題に対して長年関わっているだけに、具体的で分かりやすく3時間程度の内容を1時間にまとめてお話しくださいました。その後、大村市内のフィールドワークに出かけました。まずは「大村市歴史資料館」を見学し、古代から近代までの大村市の歴史を大まかに知りました。その後午前中は「本経寺」とキリシタンが131名斬首された「放虎原殉教地」をそれぞれ見学しました。昼食をはさみ、「大村入国管理センター」の建物を外から見学し、全ての窓にシールドが張られている実態を柚之原先生の解説とともに知ることができました。それぞれの場所もほぼ時間通りに見学でき、講師の先生も含めて16名の参加でしたが、ちょうどよい人数だったと思います。長崎大学の20代の学生がお二人参加して下さったことも高齢者の参加者が多い中で励みとなりました。

最後の参加者交流会でも全員が今回参加されての感想を述べていただき散会となりました。
※当日の写真はこちら↓

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

Ⅱ <お知らせ>

(1) ハートフルフェスタ福岡 2023 に福岡県人権研究所がブース出展いたします。

日時:9月24日(日)11時~17時

内容:全九州水平社創立から100年(パネル展)

会場:ソラリアプラザ1階 ゼファ

入場無料

https://www.city.fukuoka.lg.jp/shimin/jinkenkeihatsu/heartfulfestafukuoka_2023.html

(2) 東日本部落解放研究所第36回研究・交流集会

日時:9月23日(土) 13:00~16:30

9月24日(日) 9:00~15:00 フィールドワーク 15:00~17:00

内容:9月23日(土) 全体会

地元報告「群馬の部落解放運動の現状と課題」

報告者:深田広明さん(部落解放同盟群馬県連合会事務局長)

記念講演「群馬県水平社創立100年史の編集にかかわって」

講師:吉田勉さん(東日本部落解放研究所)

9月24日(日) 分科会

第1分科会(歴史)

第2分科会(教育)

参加費・資料代等:2000円~

会場:韮川行政センター(太田市東長岡町1853)

テクノプラザおおた(太田市本町29-1)

申込み・問合せ:東日本部落解放研究所事務局(9月13日(水)必着)

電話 03-5603-1863

FAX 03-5603-1862

メール higashiken-jimukyoku@athena.ocn.ne.jp

(3) 第16回筑前竹槍一揆ウォーク in 木屋瀬

日時:10月1日(日)10:00~15:30 (受付9:30~)

内容：講話「筑前竹槍一揆と木屋瀬」

講師：石瀧豊美さん

散策：木屋瀬みちの郷土史料館、木屋瀬宿

参加費：一般 1500 円 研究所会員 1000 円

会場：長崎街道木屋瀬宿記念館こやのせ座

(北九州市八幡西区木屋瀬 3-16-26)

※当日参加も可能ですが、一日レクリエーション保険付きの申し込みは締め切りました。

第 16 回筑前竹槍一揆ウォーク参加申し込みフォーム

<https://forms.gle/HhyA9iGg1j4EfvQH9>

問合せ：塚本博和 090-4999-0873

(4) 部落解放・人権確立第 42 回全九州研究集会

日時：10 月 7 日(土)13:30～開会 (受付 12:00～)

10 月 8 日(日)9:00～16:00 (受付 8:30～)

内容：記念講演「全九州水平社創立 100 周年記念と今後の部落解放運動について」

講師：組坂繁之さん(部落解放同盟九州地方協議会議長)

特別講演「公害病事件と差別と人権—水俣病」

講師：花田昌宣さん(熊本県部落解放研究会会長)

会場：熊本市総合体育館・他

(熊本市中央区出水 2-7-1)

申込み・問合せ：事務局 部落解放同盟福岡県連合会

電話 092-651-7333

FAX 092-651-7338

担当：吉郷・松本

(5) 2023 年度「啓発担当者のための人権講座」

日時：12 月 1 日(金)13:00～16:30 (受付 12:30～)

内容：演題(仮)「世界の人権、日本の人権 ～これからの人権～」

講師：横田耕一さん(九州大学名誉教授)

受講費(資料代を含む)：2000 円 研究所会員 1000 円

会場：福岡市立中央市民センターホール

(福岡市中央区赤坂 2-5-8)

【イベント詳細】

<http://www.f-jinken.com/event.html>

【参加お申し込みフォーム】

<https://forms.gle/yCHx65Y4ZiJi5cpm6>

(6) 9 月 25 日(月) 21 時～テレビ朝日 ABEMA Prime (ネットテレビ) に川口泰司さんがご出演され、川口さんの新刊『「寝た子」はネットで起こされる! ?』(福岡県人権研究所) が紹介される予定です。(放送後もネットでご覧いただけます)

『「寝た子」はネットで起こされる! ?』お求めはこちら↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/item-detail/1428113>

・ イベント

<http://www.f-jinken.com/event.html>

・ 部落史部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakshi.html>

・ 教育部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kyoiku.html>

・ ジェンダー部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gender.html>

・ 外国人部会

<http://www.f-jinken.com/activity/gaikokujin.html>

・ 啓発部会

9月23日(土・祝)「これまでの学習のおさらいと共有化」

<http://www.f-jinken.com/activity/keihatsu.html>

・ 海外人権スタディツアー企画部会

<http://www.f-jinken.com/activity/kaigaistudy.html>

・ 部落問題部会

<http://www.f-jinken.com/activity/burakumondai.html>

・ 特別プロジェクト「松本治一郎・井元麟之」研究会

<http://www.f-jinken.com/activity/project1.html>

〔人権研究所 書籍販売〕

新刊『「寝た子」はネットで起こされる！？—ネット人権侵害と部落差別—』（川口泰司著）

新刊・既刊のお求めはこちらから↓

<https://books-f-jinken.raku-uru.jp/>

当研究所 HP、コラム「羅針盤 PART II」

<http://www.f-jinken.com/index.html>

研究所フェイスブック

<https://www.facebook.com/fukuokajinkenken/>

☆ニュースのバックナンバーは下記研究所公式サイトでご覧いただけます。

<http://www.f-jinken.com/newsliberacion.html>

◇みなさんの投稿お待ちしております。

info@f-jinken.com （登録解除はこちらから）

【公益社団法人福岡県人権研究所は、会員の会費で運営されています。】